



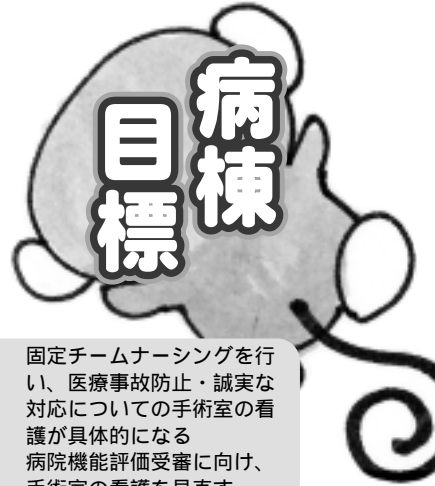
松井副部長



神谷部長

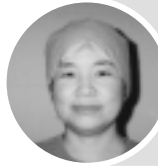


青木副部長



外来  
佐々木師長  
宮澤師長

病院機能評価で認定を受けるために成文化したものを実施していく  
「安全のための報告書」の提出を増やし、問題を明らかにし事故防止に努める  
苦情の投書が減るように誠実な対応をする



手術室  
森下師長

固定チームナーシングを行い、医療事故防止・誠実な対応についての手術室の看護が具体的になる  
病院機能評価受審に向け、手術室の看護を見直す

受け持ち患者との関わりを深める  
安全な透析を考えるためにソフトを再検討をする

腎センター  
帯金師長



業務手順の見直しをし、実践できる  
医療事故防止策について考える  
コミュニケーション技術を高める(スキルの習得)

2 東  
戸田師長



2 西  
平川師長

業務改善を行い、安全な看護を提供する  
受け持ち患者に責任ある看護を提供する



3 東  
山田師長

心のこもった接遇をする

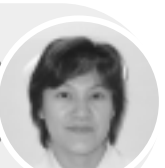
根拠を考えて行動する  
接遇面での苦情をなくす

3 西  
榛村師長



看護基準・手順を理解し、それに沿って看護の提供ができる  
安全のための報告書をシェルモデルを用いて検討する  
患者の気持ちを理解した対応ができる

4 東  
杉山師長



4 西  
八木師長

15年度に作成したパス・チェックシート・スクリーニングシートの実践と評価  
各チームの特徴を生かして看護部目標に取り組む



5 東  
大石師長

最善のケアを提供する  
— 根拠に基づいた看護の実践を目指す —

患者の状態にあった看護が提供できる

5 西  
金田師長



これ等の目標を各々の部署の特徴をふまえて実施可能な具体策を検討し  
とりに組んで下さい。十六年度も元気に頑張りましょう。

看護の質の向上に努める  
機能評価受審に向け看護の見直しをする。見直した内容を周知し実行する。  
医療事故を起こさない。「安全のための報告書」を事故防止に活かす。  
患者さまの立場に立った誠実な対応をする。

今年度は「看護の質の向上」を課題に様々なテーマに取り組み成果を上げてきました。そのひとつである固定チームナーシング方式も年々充実しています。チームの力を発揮し患者様の安全確保を最優先にした看護を今後も提供していきましょう。又、今年度は病院機能評価受審の年です。看護を見直す良い機会です。職員全員で合格をめざしとりに組みましょう。そこで十六年度は次の目標をもち活動していきます。

平成十六年度  
看護部目標・抱負

看護部長 神谷郁子

